

●長い年月、病院で処方されている薬（化学薬品）を服用していると、体に蓄積されるというのを聞くのですが、徐々に減らして止めていくと、どれくらいで体から抜けていくものなのでしょうか。

お薬の種類や量、服用法、その人の年齢・内臓の働きや血液状態等によって様々です。例えば、水に溶ける性質（水溶性）のお薬もあれば、油に溶ける性質（脂溶性）のお薬もあります。水溶性のビタミンは大量に服用しても尿に出やすく過剰摂取しても体内には残り難いですが、脂溶性のビタミンは過剰に取ることで体内に残留し副作用に注意しなければなりません。

また、血液中のアルブミンというタンパク質との結びつきやすさや、細胞内の薬物を外へ排出する「P糖タンパク」の働き、酵素との関係、お薬自体の分解排泄されていく速度など、様々な要因が複雑に絡み合っています。ただ、人間には解毒排泄機能、自然治癒力が備わっていますので過剰な心配をして自身の判断で減らしたりせず、担当医の治療方針を信頼して服用していくようにしましょう。